

# 教員養成プログラム

教職課程の規定の単位を修得することで、英語または国語の中学校教諭1種免許、高等学校教諭1種免許を取得できます。本学教職課程では、中学校・高等学校両方の免許を同時に取得することができます。

## 【受講にあたっての注意事項】

- ・本学教職課程では、中学校・高等学校両方の免許を取得することを目的とし学修を行います。
- ・国語・英語の2教科の教員免許状を取得することはできません。
- ・随時ガイダンスを実施いたします。教職課程受講希望者は必ず出席してください。

## 取得可能な教員免許状の種類

教科	免許状の種類
国語	中学校教諭1種
	高等学校教諭1種
英語	中学校教諭1種
	高等学校教諭1種

※以下、中学校教諭1種免許を「中免」、高等学校教諭1種免許を「高免」、両方に共通する場合を「教免」と略すことがあります。

## 1. 教員免許状取得のための要件

- ・学士の学位を有すること。
- ・以下の所定の単位を修得すること。

(1) 文部科学省令により修得することを定められている科目（卒業要件単位数に含まれます）

授 業 科 目	単位数	配当年次				備 考
		1	2	3	4	
日本国憲法	2		◎			
体育実技A	1		○			体育実技A・B・C・D・E・Fの 6科目から2科目を選択。
体育実技B	1		○			
体育実技C	1		○			
体育実技D	1		○			

授 業 科 目	単位数	配当年次				備 考
		1	2	3	4	
体育実技E	1	○				体育実技A・B・C・D・E・Fの 6科目から2科目を選択。
体育実技F	1	○				
Conversation	2	◎				
コンピュータリテラシー	2	◎				

※8単位以上。表中の◎は必修科目（英語、国語共通）。

(2) 教科に関する科目：英語の免許を取得する場合（卒業要件単位数に含まれます）

科目	授 業 科 目	単位数	配当年次				備考
			1	2	3	4	
英語学	英語学	2	◎				
	英語語法研究	2	◎				
英語文学	英語圏の文学	2	◎				
	英米小説論	2	◎				
英語コミュニケーション	Reading Upper A	2	◎				
	Writing Upper A	2	◎				
	Oral Communication Upper A	2	◎				
異文化理解	American Pop Culture	2	◎				
	Japanese History D Modern Japan	2	◎				
	欧米の文化	2	◎				

※ 表中の◎は必修科目（選択必修科目を含む）、○は選択科目

(3) 教科に関する科目：国語の免許を取得する場合（卒業要件単位数に含まれます）

科目	授 業 科 目	単位数	配当年次				備考
			1	2	3	4	
国語学	文章表現法 A (スタディスキル)	2	◎				
	文章表現法 B	2	◎				
	日本語史	2			◎		
	日本語概説	2			◎		
国文学	日本古典文学史	2			◎		
	日本近現代文学史	2			◎		
	日本古典文学演習 A	2			◎		6科目の中から 2科目4単 位を選択必修
	日本古典文学演習 B	2			◎		
	日本古典文学演習 C	2			◎		
	日本古典文学演習 D	2			◎		
	日本近現代文学演習 A	2			◎		
	日本近現代文学演習 B	2			◎		
漢文学	漢文学 A	2			◎		
	漢文学 B	2			◎		
書道	書道 A	1			◎		

※ 表中の◎は必修科目、○は選択科目

## (4) 教職に関する科目：英語、国語共通（\*の付された科目は卒業要件単位数に含まれません）

授 業 科 目	単位数	配当年次				備考
		1	2	3	4	
教職概論	2	◎				
教育原論	2		◎			
*教育の制度と経営（教育課程の意義及び編成を含む）	2		◎			
*道徳教育論	2		◎			
*教育心理学	2			◎		
*特別支援教育論	2			◎		
*教育方法論	2			◎		
*総合的な学習の時間の指導法および特別活動論	2			◎		
*ICTを活用した教育の理論と方法	1		◎			
*生徒指導論（進路指導及びキャリア教育を含む）	2			◎		
*教育相談論（進路指導及びキャリア教育を含む）	2			◎		
*国語科教育法Ⅰ	2		◎			国語科免許必修
*国語科教育法Ⅱ	2		◎			国語科免許必修
*国語科教育法Ⅲ	2			◎		国語科免許必修
*国語科教育法Ⅳ	2			◎		国語科免許必修
*英語科教育法Ⅰ	2		◎			英語科免許必修
*英語科教育法Ⅱ	2		◎			英語科免許必修
*英語科教育法Ⅲ	2			◎		英語科免許必修
*英語科教育法Ⅳ	2			◎		英語科免許必修
*介護体験	1			◎		
*教育実習事前事後指導	1				◎	
*教育実習	4				◎	
*教職実践演習（中・高）	2				◎	
*教育研究A	2			○		
*教育研究B	2				○	
*教育インターンシップA	1		○			
*教育インターンシップB	1		○			

※表中の◎は必修科目（選択必修科目を含む）、○は選択科目

(5) 教員免許取得に必要な最少単位数

科 目	中学校 1 種免許 + 高等学校 1 種免許	
	英語	国語
文部科学省令により取得することを定められている科目	8 単位	8 単位
教科及び教科の指導法に関する科目	28 単位	29 単位
教職に関する科目	28 単位	28 単位
上記以外に教科及び教科の指導法に関する科目若しくは大学が独自に設定する科目の中から選択	3 単位（教育インターンシップ A、教育インターンシップ B、教育研究 A、教育研究 B）	2 単位（教育インターンシップ A、教育インターンシップ B、教育研究 A、教育研究 B、または国語の教科及び教科の指導法に関する科目）
合計	67 単位	67 単位
その他	介護等体験（下記参照）	

(6) 介護等体験

中学校 1 種免許状取得には介護等体験の修了証明書の提出が必須です。社会福祉施設、老人福祉施設、盲・聾・養護学校等における 7 日間の介護等の体験実習です。2 年次に事務局教務課に申込み、3 年次に実施します。本学教職養成プログラム履修者は、中学校、高等学校の両方の免許を取得することを原則とするため、「介護体験」科目を履修の上、全員必ず行なってください。また介護等体験への参加は 2 年次修了時点において、卒業単位に含まれる科目の単位修得数が 62 単位以上であること、前年度までの学納金が全て納付されていることが求められます。

(7) 教育インターンシップ

教職課程履修者は、小牧市立小・中学校において教育インターンシップ（学習チューター活動）を単位修得が伴わない課外科目「教育インターンシップ入門」、単位修得が伴う科目「教育インターンシップ A」「教育インターンシップ B」を通して行います。詳細については、教員養成プログラムのガイダンスで説明します。

(8) 教育実習の履修要件

原則として、3 年次修了時点において、卒業単位に含まれる科目の単位修得数が合計 92 単位以上であること、3 年次までに配当されている教職に関する科目（上記（4））が全て修得済みであること、教職課程費及び前年度までの学納金が全て納付されていること、教員養成プログラム選択必修科目の GPA 平均が 1.0 以上であることが求められます。

(9) その他

教員免許取得には別途諸費用が必要となります。3 年次進級時ごろを目処に、教職課程費として 4 万円を指定の方法で支払うこととします。詳細は、ガイダンスにて説明します。

教科に関する科目（上記（2）（3））は、4 年間で取りこぼしなく修得できるように計画的に履修・単位修得してください。